

## 安全データシート

作成日：2012年09月25日

改訂日：2020年06月01日

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : KRK エコブランフレッシュ ST  
会社名 : 株式会社 此花  
住所 : 大阪市天王寺区石ヶ辻町 10 番 2 号  
担当 :  
電話番号 : 06-6772-0471  
FAX 番号 : 06-6772-3793  
緊急連絡先 : 同上  
整理番号 : 166

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分 2
健康有害性	急性毒性（経口）	区分 4
	皮膚腐食性 / 刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷 / 眼刺激性	区分 2B
	特定標的臓器（単回暴露）	区分 3
	誤えん有害性	区分 1
環境有害性	水生環境有害性（急性）	区分 2
	水生環境有害性（慢性）	区分 2

\* 上記で記載のない危険有害性項目は「区分に該当しない」または「分類できない」です。

#### GHS ラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 引火性の高い液体及び蒸気  
飲み込むと有害  
皮膚刺激  
眼刺激  
呼吸器への刺激のおそれまたは眠気またはめまいのおそれ

改訂日：2020.06.01

飲み込んで気道に進入すると生命に危険のおそれ  
水生生物に毒性  
長期継続的影響により水生生物に毒性

#### 注意書き

##### 安全対策

- 容器を密閉しておくこと。
- 熱・火花・高温物体のような着火源から遠ざけること。
- 保護手袋・保護眼鏡・保護マスクを着用すること。
- 取扱後は手をよく洗うこと。
- ミスト・蒸気を吸入しないこと。
- 環境への放出を避けること。

##### 応急措置

- 眼に入った場合は直ちに多量の水で 15 分以上洗い、眼科の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合は水でよく口の中を洗浄し直ちに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合は直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部を石鹼水で洗浄し多量の水で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた場合は医師の手当てを受ける。

##### 保管

- 直射日光を避け、換気の良い場所で、施錠をして保管すること。

##### 廃棄

- 内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名	含有量 (%)	化学式	官報公示 No	CAS No
メチルクロヘキサン*	50~60	—	(3) -2230	108-87-2

\*労働安全衛生法：通知対象物

### 4. 応急措置

- 吸入した場合：大量に吸入した場合被害者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。  
呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行い、呼吸が弱い場合は酸素吸入を行い直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：直ちに水・温水等で洗い流した後、石鹼でよく洗い落とす。もし皮膚に炎症を生じた場合は医師の手当てを受ける。
- 眼に入った場合：直ちに清浄な流水で 15 分以上洗眼し眼科医の手当てを受ける。  
洗浄の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水が行きわたるように洗う。
- 飲み込んだ場合：患者に意識がある場合は、水でよく口の中を洗わせる。無理に吐かせようと

してはならない。吐き出させるとかえって危険がます。

保温して速やかに医師の手当てを受ける。但し意識がない被災者には口から何も与えてはならない。

応急措置をする者の保護：救済者は保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤：二酸化炭素、泡、粉末、炭酸ガス、耐アルコール性泡消火剤
- 使ってはならない消火剤：棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
- 特定の消火方法：火元への燃焼源を断ち消火剤を用いて風上より消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。周囲の設備等には散水し冷却する。
- 消火を行う者の保護：消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置：作業には、必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 漏洩していても火災が発生していない場合、立入の際は、密閉性の高い不浸透性の保護具を着用する。
- 直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項  
封じ込め及び  
浄化の方法及び機材：漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- ：全ての着火源を速やかに取り除き、漏洩箇所の漏れを止める。
- 危険地域より人を退避させる。危険地域の周辺には、ロープを張り、人の立ち入りを禁止する。
- 室内で漏出した場合は、窓、ドアを開け十分に換気を行う。
- 少量の場合は、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。
- 大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、液面を泡で覆い容器等に回収する。
- 二次災害の防止策：付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。床を濡れた状態で放置すると滑りやすく、スリップ事故の原因となるため注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策：『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気：『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気・全体換気をする。
- 安全取扱い注意事項：全ての安全注意書を読み、理解するまで取扱わない事。
- 取扱い場所で使用する電気機器は、防爆構造とし機器類は静電気対策を講じる。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

流動によって静電気が発生する場合がありますので、出し入れの容器にはアースを取ることを。

換気の良い場所で取扱うこと。

接触回避 : 『10.安定性及び反応性』を参照。

#### 保管

適切な保管条件 : 危険物の表示をして保管する。

屋内の通気のよい場所で容器を密閉し保管し、火気熱源から遠ざける。

容器を密閉し、保管場所に施錠をすること。

避けるべき保管条件 : 熱、スパーク、火災ならびに静電気蓄積を避ける。

技術的対策 : 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。

安全な容器包装材料 : 容器に圧力をかけない。破壊することがある。

容器は溶接、加熱、穴あけ又は切断しない。爆発を伴って残留物が発火することがある。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 屋内作業所で使用の場合は発生源の密閉化又は全体換気装置を設置する。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度 :

鉱油ミストとして 3mg/m<sup>3</sup> 日本産業衛生学会 2006年

メチルクロヘキサン 400ppm 日本産業衛生学会 2005年

#### 保護具

呼吸器用の保護具 : 必要により有機溶剤用防毒マスク等を使用する。

手の保護具 : ゴム手袋等耐油性の保護手袋を着用する。

眼の保護具 : ゴーグル型、全面型等の保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止性能を有する長袖保護衣及び安全靴を着用する。

#### 9. 物理的及び化学的性質

##### 物理的状态

外観 : 無色透明液体

臭気 : ガリソ臭

引火点 : 25℃

沸点 : 100.9℃以上

自然発火温度 : 309℃以上

蒸気密度 : 3.68 (空気=1)

爆発範囲 : 下限 1.2vol% 上限 13.0vol%

比重 : 0.830 (20℃)

溶解性 : 水に不溶、エチルアルコール・エチルエーテルに可溶

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の保管取扱い条件では安定。
- 反応性 : 自己反応性なし  
流動、攪拌などにより、静電気が発生することがある。
- 危険有害反応可能性 : 強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
- 避けるべき条件 : 高温  
蒸気は空気より重く、低所に滞留して爆発性混合ガスをつくる。
- 混触危険物質 : 強酸化剤
- 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素などの有毒ガスが発生する。

## 11. 有害情報

### 急性毒性（経口）：

ウサギ LDLo: 4000～4500mg/kg、ラット LD50 値: >3200mg/kg、マウス LD50 値: 1200mg/kg  
飲み込むと有害（区分 4）

### 皮膚腐食性 / 刺激性：

具体的な症例報告はないが、皮膚を刺激するとの記述、並びに 24 時間暴露ではあるが RTECS  
(2005) のウサギの皮膚に適用した試験において軽度な刺激性が認められたとの記述がある。  
軽度の皮膚刺激（区分 3）

### 眼に対する重篤な損傷 / 刺激性：

ウサギの眼に適用した試験において軽度な刺激性が認められたとの記述、並びに具体的な症例報告はないが、眼を刺激するとの記述がある。眼への刺激（区分 2B）

### 特定標的臓器（単回暴露）：

マウスを用いた吸入暴露試験において腹臥位が認められたとの記述、並びにウサギを用いた吸入暴露試験において麻酔作用が認められたとの記述、中枢神経系に影響を与えるとの記述から麻酔作用があると判断した。  
眠気又はめまいのおそれ（区分 3）

### 誤えん有害性：

炭化水素であって、かつ動粘性率が 20℃で約 0.95mm<sup>2</sup>/s（粘性率 / 密度=0.732(mPas)/0.7694 (g/cm<sup>3</sup>)) であり、40℃での動粘性率は 20.5mm<sup>2</sup>/s 以下であると考えられる。  
飲み込んで気道に進入すると生命に危険のおそれ（区分 1）

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性：

魚類急性毒性	: ヒメダカ	LC50 (48hr) 5.02mg/L
	: Golden shiner	LC50 (96hr) 72.0mg/L
甲殻類急性遊泳阻害	: ブラウンシュリンプ	LC50 (96hr) 3.3mg/L
藻類成長阻害	: 情報なし。	

残留性・分解性 : 化審法既存化学物質点検で難分解。  
BOD 0% (4 週間)

生態蓄積性 : 化審法既存化学物質点検で、生物蓄積性が低いと推定される。  
コイ (8 週間) 95~321 倍 (0.1mg/L)、134~237 倍 (0.01mg/L)

土壌中の移動性 : 情報なし。

他の有害影響 : 情報なし。

水生環境有害性 短期 (急性) (区分 2)

水生環境有害性 長期 (慢性) (区分 2)

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、  
廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

汚染容器・包装 : 同上

### 14. 輸送上の注意

特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器に破損、腐食、漏れ等のないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

### 15. 適用法令

消防法分類 : 危険物 第 4 類第 2 石油類 (非水溶性液体)

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則 : 該当しない

有機溶剤中毒予防規則 : 該当しない

表示・通知対象物質 : 該当 No.576 メチルクロヘキサン

改正化管法 (PRTR 法) : 該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 特別管理産業廃棄物 (廃油)

船舶安全法 : 危規則第 2 条危険物等級 2 引火性液体類

海洋汚染防止法 : 別表第 1 有害液体物質

航空法 : 施行規則第 194 条 危険物引火性液体

港則法 : 施行規則第 12 条危険物 (引火性液体類)

### 16. その他情報 : 参考資料

- 1) CIS データベース (1998) : RTECSS、MALLIN
- 2) STN データベース (1998) : MSDS-OHS
- 3) 化審法の既存化学物質安全点検データ集 (1992)
- 4) 国際化学物質安全性カード (ICSC) (2001)
- 5) 製品評価技術基盤機構 (NITE) 安全性試験
- 6) 中央労働災害防止協会
- 7) 緊急時応急措置指針「改訂版」日本化学工業協会 (2003)
- 8) JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法 (日本規格協会)
- 9) JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく危険有害性情報の伝達方法 (日本規格協会)

★この「安全データシート (SDS)」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を取り扱う場合はこの記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した適切な処置を講じて下さい。

本データシートは、安全や品質の保証書ではありません。

★この「安全データシート (SDS)」は JIS Z 7252 / 7253 : 2019 に基づいて作成したものです。